AI CAMPFIRE 第九夜

3年後、エンジニアの仕事はどうなっている？

AI革命を、産業の歴史と車の産業で考える
テーマは「方向」と「準備」
未来を断言せず、明日の行動につなげる

2026.11.17（火）18:00–19:00

INTRO

今日、持ち帰る三つのこと

- 見取り図：三年で仕事はどう変わるか
- 方向：自分はどの役割を目指すか
- 準備：今から何を始めるか
- 前八夜の先にある「自分の動き方」を決める



02

BIG PICTURE

産業革命から、AI革命を見る

1. 組み替えられるのは職業より「作業」
2. 機械の周りに、新しい仕事が生まれる
3. 効率化は、道具より流れの組み替えから
4. 不安への最初の一歩は、見取り図を持つこと



03

DIRECTION

AIの仕事を、車の産業で考える

- エンジン側：モデル研究者
- 完成車をつくる側：Harness開発
- 使う側：成果を届ける仕事
- 優劣ではなく、担当する問題の違い



04

DIRECTION

使う側の三段階と、五つの役割

- 一般ドライバー：質問と要約で判断を助ける
- プロドライバー：任せて、完了まで運ぶ
- 改造者：手順を仕組みに変える
- 研究・完成車づくりと合わせて五つの役割



05

DIRECTION

道具の地図：接続と手順

- MCP：外部の情報と道具への「接続」
- Skills：手順と知識の「再利用」
- 接続は届く範囲、手順は進め方を決める
- 今日は名前と役割の対応だけ

06

DIRECTION

私たちが目指したいルート

- まず、プロのドライバーを目指す
- 繰り返しが見えたら、改造者へ
- 経験を生かして、Harness開発へも
- 順番は「使う → 仕組み化 → つくる」



07

DIRECTION

プロのドライバーが、決めていること

1. 目的：何のために、誰のために
2. 条件：守るルールと情報の範囲
3. 受け取り基準：何をもって「できた」か
4. 従来の基礎は、判断のために使う場面が増える



08

ROADMAP

三年の見取り図

第1段階

道具が標準装備になる

準備

自分の仕事でAgentを使い、完了まで運ぶ

第2段階

仕事の流れに組み込まれる

準備

繰り返しを手順にまとめ、受け取り基準を持つ

第3段階

役割の組み替えが進む

準備

課題の理解・設計・検証まで担える力を伸ばす

09

DIRECTION

目指せる三つの仕事像

- 一気通貫で届ける上級SE
- コンサルティング型エンジニア
- FDE：現場に入り、作りながら確かめる
- 共通の準備：業務理解・課題定義・設計・検証



DIRECTION

いまの職種から、どうつながるか

- SE・PG・PMの境界は、少しずつ動く
- 自分の強みは、どの仕事像に近いか
- 足りない部分を一つ選んで伸ばす
- 職種名を守るより、価値を広げる

DIRECTION

もう一つの方向：評価し、確かめる仕事

- AIは、もっともらしく間違える
- 受け取りは言葉ではなく、証拠で
- 別のモデルに、独立に反例を探させる
- 準備は「良い例・悪い例」の物差しづくり

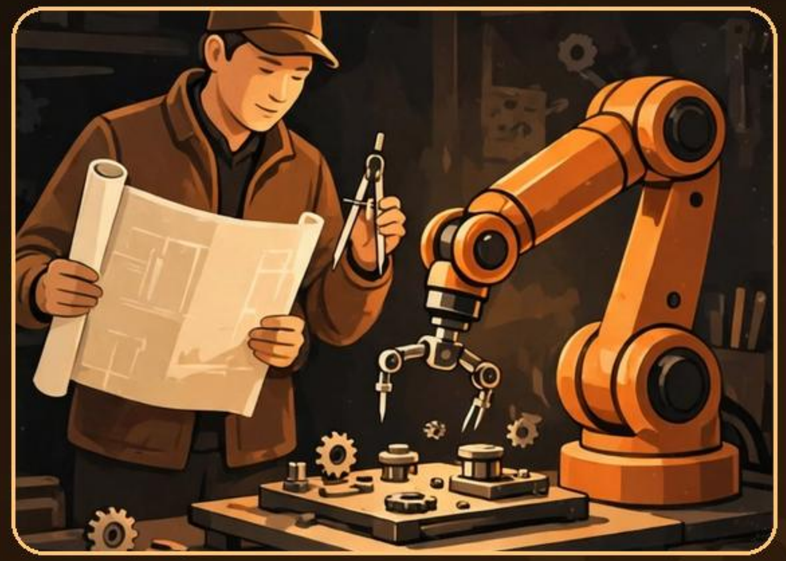


PRINCIPLE

任せても、理解を手放さない

- 全部の細部を理解する必要はない
- 全体の流れと大きな構造は、把握する
- AIへの質問が、そのための道具

目的は二つ：学習と、ハルシネーションへの備え
お任せはしても、意識までログアウトしない。



PREPARATION

準備リスト：方向ごとに、最初の一歩

プロ	任せ方と、証拠で受け取る習慣
改造者	繰り返しを一つ、手順に書き出す
開発	API・状態・権限・復旧の基礎
評価	良い例と悪い例を集める
共通の土台	理解し、質問する姿勢

ACTION

明日からの一歩

- Agentに手伝ってもらう本物の仕事を一つ
- 小さく完了まで運び、証拠で受け取る
- 毎日10分、一つ試して一行メモ
- まず使う → 学ぶ → 理解を手放さない



REQUEST

会社へのお願い

- 業務で使えるAIサービス
- 安心して使える明確なルール
- 試せる小さな場所
- 学びを共有できる入口
- 小さく始め、見ながら広げる



CLOSING

まとめ

- 生成は安くなる。判断と検証が値上がりする
- まずプロのドライバーを目指す
- 方向を一つ決め、最初の一歩を明日に
- 任せても、理解と判断は手放さない



NOTE

参考資料と、この発表の立場

- 車の比喩と仕事像は、本発表の整理と提案
- 三年の見取り図は、発表者の見立て
- ご視聴ありがとうございました